

令和7年度 第68回中部日本吹奏楽コンクール高等学校部門長野県大会開催要項

1 主催団体等

主催：長野県高等学校文化連盟、長野県吹奏楽連盟、中日新聞社
主管：長野県高等学校文化連盟吹奏楽専門部
後援：長野県教育委員会、長野県芸術文化協会

2 開催期日等

| 大会区分 | 編成区分 | 開催期日 | 会場 |
|------|------------|------------------------------|-------------------|
| 県大会 | 小編成 大編成 | 令和7年8月31日(日) | 伊那文化会館 (長野県) |
| 本大会 | 小編成 大編成 | 令和7年10月4日(土) 令和7年10月5日(日) | アクトシティ浜松 (静岡県) |

3 参加資格

- (1) 参加資格は、原則として、中部日本吹奏楽コンクール本大会実施規定に準ずるものとする。
- (2) 大編成とは、編成校数に制限はなく、指揮者を除き、演奏者が55人までの編成をいう。
- (3) 小編成とは、編成校数に制限はなく、指揮者を除き、演奏者が30人までの編成をいう。
- (4) 演奏者は本専門部に加盟した高等学校の生徒であるとともに、本年度の中部日本吹奏楽コンクールの他部門に出場していない生徒であること。ただし同一経営の学園内における中学校生徒の参加は認める。
- (5) 同一高等学校が大編成と小編成の双方に出場することはできない。
- (6) 指揮者は、出場する高等学校の職員でなければならない。
- (7) (6)について、当該高等学校長から参加申込以前に、この内容を満たすことができない旨の書類が本部会長あてに提出された場合は、理事会は、当該高校に関する(6)の適用について、その適否を決することができる。

4 演奏形態

- (1) 両編成とも課題曲と自由曲を演奏する。
- (2) 電子楽器の使用はエレキベースのみ認める。
- (3) ピアノを使用することができる。ピアノの配置は上手固定とするが、蓋の開閉は自由とする。
- (4) 課題曲、自由曲ともに、同一指揮者及び同一演奏者でなければならない。
- (5) 課題曲は次の5曲の中から1曲を演奏する。これらを自由曲として演奏することはできない。

- | | | |
|-----------------|---------------------------|----------------------|
| A アット・サイト・マーチ | H.ベネット 作曲 / L.クラーク 編曲 | 【Carl Fisher】 |
| B アメリカン・ウェイ・マーチ | K.L.キング 作曲 / J.スウェアリッジ 編曲 | 【Barnhouse】 |
| C キング・コットン | J.P.スーザ 作曲 / A.バレント 編曲 | 【Carl Fisher】 |
| D 行進曲「後甲板にて」 | K.アルフォード 作曲 / M.ロジャース 編曲 | 【Southern Music】 |
| E 風薫る五月に | 保科洋 作曲 | 【HoshinaMusicOffice】 |

- (6) 課題曲は中部日本吹奏楽連盟指定の楽譜を用い、指定された編成に従い編曲等はしないこと。また、過去に絶版となったこれらの曲の楽譜の使用は認めない。
- (7) 自由曲の演奏で歌詞をつけて歌うことはできない。(スキヤット、ヴォカリーズは認める)
- (8) ステージ上にハーブやコントラバスなどの台、反響板を持ち込むことは許可しない。
- (9) 著作権法に違反することがないように留意する。

5 演奏順・演奏時間等

- (1) 演奏順は朝日コンクール県大会時の臨時理事会にて抽選により決定する。
- (2) 演奏時間は両編成ともに12分以内とする。
- (3) 演奏時間の計測は、両編成ともに課題曲の演奏開始から自由曲の演奏終了までとする。
- (4) 演奏時間が演奏制限時間を超えた場合は失格とし、審査対象とはしない。

6 審査方法・審査員

審査は、別に定める審査規程に基づいて行う。審査員は次のとおりとし、それぞれの大会の開催前の4ヶ月の間には、当該審査員の講習等による指導を受けてはならない。

(五十音順、敬称略)

- 石川 武 【上田市立神科小学校校長】
- 市川 和彦 【新日本フィルハーモニー交響楽団副主席 トランペット奏者】
- 小田桐 寛之 【元東京都交響楽団、洗足学園音楽大学教授 トロンボーン奏者】
- 田中 かずな 【元東京吹奏楽団 クラリネット奏者】
- 名雪 裕伸 【元東京フィルハーモニー交響楽団、国立音楽大学、洗足学園音楽大学講師
フルート奏者】

7 表彰及び代表校の決定

- (1) 金賞、銀賞及び銅賞のいずれかを授与し表彰をする。
- (2) 代表数は各編成1団体であり、大編成代表校には優勝旗、小編成代表校にはカップを授与するが持ち回りとする。
ただし、本年度においては大編成の代表校を2団体とする。

8 参加申込み手続き

- (1) 長野県吹奏楽連盟ウェブページ (<https://www.ajba.or.jp/nagano/index.htm>) にアクセスして手続きを行う。申し込みのパスワードは である。
- (2) 送信後、入力したメールアドレスあてに申し込み内容が添付されたメールが自動返信される。確認できない場合は、メールアドレスが正しく入力されていない可能性があるので注意すること。
- (3) 返信されたメールの添付ファイルをプリントアウトして、校長欄に職印を押印した後、次の(4)で作成した書類とともに指定された期日までに郵送する。なお、プリントアウトした時に、入力ミス、記入漏れ等の不備が判明した場合は、プリントアウトした文書に直接朱書きで加筆訂正をして提出

をすること。

- (4) プログラム作成のため、自由曲の作曲者、編曲者、出版社及び曲目が確認できるスコアの写しを、A4サイズ1枚に作成して提出する。
- (5) 参加費振り込み確認のため、ウェブ申し込みの際に備考欄に振り込み日と金額（内訳：人数／中日加盟金）を記入すること。受領証の提出は不要。
- (6) 書類提出期限
令和7年7月28日（月）必着。参加費についても提出期限までに振り込むこと。
- (7) 提出先

| |
|--|
| 〒395-0804 飯田市鼎名古熊2535-2 飯田OIDE長姫高等学校内 高文連吹奏楽専門部 専務理事 中村 真太郎 宛 |
|--|

- (8) 参加申込書を受理後は、原則として参加申込書記載内容を変更することは認めない。
- (9) 申込書に記載された個人情報については、大会運営に関する目的以外に使用しない。また、指揮者名をプログラムに記載することを了承するものとする。

9 参加費、入場料、プログラムについて

- (1) 参加費は、演奏者1人あたり2,000円とする（プログラム代を含む）。楽器等の搬入・搬出をステージ等で補助する出場高校の生徒（以下「補助生徒」という）は1人あたり1,500円とする（プログラム代を含む）。中部日本吹奏楽連盟への加盟金については別紙を参照すること。

| |
|---|
| [ゆうちょ銀行] 口座番号：00550-7-65145 加入者名：長野県高等学校文化連盟吹奏楽部会 |
|---|

- (2) プログラムは学校長と顧問用に3部無料で配布する。
- (3) 両編成とも令和7年7月28日（月）までに、参加人数分（演奏者数＋補助生徒数）の参加費、中部日本吹奏楽連盟加盟金を同封の振込用紙で次の指定口座に振り込むこと。（記入方法は振込用紙を参照する）
- (4) 参加費納入後に参加生徒数が減った場合の差額返金は、いかなる場合も行わない。なお、コンクール自体が中止になった場合は、諸経費の支払いが済み次第、残金を全て返金する。
- (5) コンクール参加に係る費用は、参加する高等学校の負担とする。なお、ピアノ使用料と著作権使用料については、吹奏楽専門部が負担する。
- (6) 入場料金は小学生以下無料・中学生1,000円、高校生以上2,000円とする。（いずれもプログラム代含む）

10 問合せ先

〒395-0804 飯田市鼎名古熊2535-2
飯田OIDE長姫高等学校内 高文連吹奏楽専門部
専務理事（中日担当）：中村 真太郎
TEL 0265-22-7117
FAX 0265-53-4995
E-mail : cond-nk@m.nagano-c.ed.jp